

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲について

資金の範囲については、現金、普通預金、未収金、仮払金、未払金、前受金、仮受金、預り金を含めることにしている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

| 科 目 | 当期末残高 | 前期末残高 |
|----------|------------|------------|
| 現金 | 50,000 | 50,000 |
| 普通預金 | 26,991,166 | 28,767,947 |
| 未収金 | 0 | 0 |
| 仮払金 | 0 | 0 |
| 合 計 | 27,041,166 | 28,817,947 |
| 未払金 | 5,000 | 5,000 |
| 前受金 | 12,165,628 | 12,033,637 |
| 仮受金 | 1,756,050 | 1,739,700 |
| 預り金 | 225,513 | 206,958 |
| 合 計 | 14,152,191 | 13,985,295 |
| 次期繰越収支差額 | 12,888,975 | 14,832,652 |

3. 予算額と決算額の差異が著しい科目について

計算書に記載のとおり

(差異が100万円以上の科目は会計報告時に説明)

4. 科目間の流用及び予備費の使用について

(1) 科目間の流用

大科目をまたぐような科目間の流用はありません。

(2) 予備費の使用

予備費予算額500,000円の使用はありません。